

2022年4月19日(火)

関東鉄道株式会社  
鹿島臨海鉄道株式会社  
ひたちなか海浜鉄道株式会社  
真岡鐵道株式会社  
茨城県政策企画部交通政策課  
(制作協力) ザ・ヒロサワ・シティ

## 地域鉄道4社の「ベテラン」と「若手」運転士が対決！ 本物の鉄道車両を使った運転シミュレーターで勝負した動画などを公開！

県内の地域鉄道4社（関東鉄道株式会社、鹿島臨海鉄道株式会社、ひたちなか海浜鉄道株式会社、真岡鐵道株式会社）及び茨城県（政策企画部交通政策課）では、新型コロナウイルス感染症の影響により、鉄道利用者が減少する中、多くの方々に鉄道に対する興味・関心を持っていただけるよう、昨年11月から「鉄道利用促進おもしろ企画」を実施しています。

今般、地域鉄道4社の運転士が、ザ・ヒロサワ・シティにある鹿島臨海鉄道で活躍した「マリンライナーはまなす号」の本物の車両を使った「超」リアルなトレインシミュレーターを運転。「ベテランチーム」と「若手チーム」に分かれて対決する様子などをYoutube動画で公開します。

他社の列車を運転して緊張する表情や、思わぬミスをして慌てる姿など、普段は見ることのできない人間味あふれる運転士の様子がたくさん詰まっております、鉄道にあまり詳しくない方でも楽しんで見ていただける動画となっております。

ぜひ、ご取材・PRにご協力いただきますようお願いいたします。

### 1 公開日等

- ・公開日：2022年4月26日(火)
- ・公開場所：真岡鐵道のYoutubeチャンネル（真岡鐵道公式ちゃんねる）  
URL: <https://www.youtube.com/channel/UCWFmMIItBqQFIxAKCz3kcOeg>
- ・動画本数：前半部（約15分間）と後半部（約24分間）の2本
- ・撮影時期：2021年9月 ※動画制作に興味のある茨城大学の学生2名が撮影

### 2 動画の内容

ザ・ヒロサワ・シティ（筑西市）にある本物の車両（過去に大洗鹿島線を走行していた「マリンライナーはまなす号」）の運転席を改造した「超」リアルなトレインシミュレーターを、地域鉄道4社のベテランと若手運転士8名（各社2名ずつ）が運転。

## (1) 前半動画

- ・オープニング（ザ・ヒロサワ・シティの車両の前で運転士8名が整列）
- ・地域鉄道4社に所属する、運転免許を取得したばかりの若手運転士4人が運転。

【見どころ】初めて他社の路線を運転する若手運転士の緊張した様子や、鉄道会社ごとの運転中の所作（指差し確認や掛け声等）の違いなどが見られます。若手ならではのフレッシュさの中に垣間見られるプロとしての真剣な表情に引き込まれます。

## (2) 後半動画

- ・4社の運転士が、ベテランチーム（4人）と若手チーム（4人）に分かれて対決。時計や速度計を隠したうえで、途中の制限速度を超過せずに、定刻どおりに到着できるかをポイント形式で対決。
- ・負けたチーム4人が罰ゲーム（クエン酸ジュースを一気飲み）、エンディング

【見どころ】制限速度を超過して悔しがる表情、停止位置を超過して慌てる姿、罰ゲームに悶絶する姿など、普段は見られない人間味あふれる運転士の様子がたくさん見られます。各社によって異なるベテラン運転士の流れるような所作（指差し<sup>しさ</sup>喚呼<sup>かんこ</sup>）にも注目です。

### ○前半動画の様子



### ○後半動画の様子



○連携事業に関するお問い合わせ先

茨城県政策企画部交通政策課（細谷）Tel：029-301-2606

○ザ・ヒロサワ・シティに関するお問い合わせ先

レールパークアドバイザー（野口）Tel：080-2295-8335